

## V-Campus5th 更新

### I. 概要

立教大学を支える重要なインフラである情報基盤「立教 V-Campus」は、更なる強化・拡充と新サービスの提供を目的として、次期立教 V-Campus 5th Stage (V-Campus5th) を 2012 年度からスタートをすることとした。

V-Campus5th の構築にあたっては、先進的な ICT 技術を取り入れて、教育研究の情報基盤を充実するという「立教 V-Campus」の当初の目的を継承しつつ、これまでの成果を踏まえ、次期「V-Campus5th」のシステム要件の策定を行い、構築・導入へ向けた作業を進めた。

更新作業は、2011 年 9 月末に業者選定を終え、翌 10 月より V-Campus 5th のシステム更新作業を開始し、不具合の発見された一部の機能を除き 2012 年 3 月末をもって更新作業を終了した。

### II. システム要件

#### 1. システム要件の対象範囲

- ・更新には、キャンパス・データセンタ間回線、インターネット接続、メールや WEB などのシステムおよびサーバ、データセンター、情報セキュリティ、授業支援システム・e-Learning コンテンツ作成システム、両キャンパス PC 教室システムを含む。

#### 2. システム要件における留意点

- ・2012 年 3 月 31 日までに更新を完了し、2012 年度以降のメール、ウェブ、PC 教室システムなどの情報基盤の利用に支障がないようにする。
- ・増大する利用に対し、今後 4 年間のサービスが維持できるように、ネットワークのスピードやストレージの容量を充実する。
- ・震災や不正アクセスなどのリスクに対して、省エネを含め十分な対策をしたシステムを構築する。

#### 3. システム要件のポイント

##### 【強化・拡充】

- ・ネットワーク基盤、サーバ基盤、ストレージ基盤、PC 教室の増強
- ・各キャンパス・データセンター・インターネット接続のネットワーク二重化と帯域増強
- ・インターネット接続の高速化
- ・学内ホスティングサービスの増強
- ・メールサービスの安定提供 (Gmail に加え、Office365 の活用)
- ・卒業生メールアドレスサービス、一斉メールサービス、携帯向け一斉メール不達解消

- ・ WindowsOS、MSOffice の提供
- ・ 運用管理の可視化・簡略化による、保守・運用の負担軽減、分析・改善
- ・ 学内各種サービスが V-CampusID/password により利用可能となる統合認証基盤の提供

【新サービス】

- ・ 各種サービスのスマートフォン対応
- ・ コミュニティの形成支援と利用者の情報処理能力向上のためのポータル基盤構築
- ・ ポータル基盤の4年間継続開発による学内コミュニティの活性化
- ・ パスワード再発行の利便性・安全性の向上
- ・ 学外から学内システムへのセキュアなアクセスを実現する VPN サービスの提供
- ・ PC 教室への英語版 OS 環境提供

### III. システム更新作業

#### 1. システム更新作業の概要

##### (1). 開発期間と開発フェーズ概要

開発期間（6か月）：2011年10月～2012年3月

開発フェーズ	期間	主な作業	担当
要件定義	2011年10月～11月（2ヶ月）	要件の提供	メディアセンター
		要件定義書の作成	各ベンダー
開発・構築	2011年12月～2012年1月（2ヶ月）	開発・構築	各ベンダー
テスト・移行	2012年2月～3月（2ヶ月）	各工程テスト	各ベンダー
		受け入れテスト	メディアセンター

##### (2). 進捗管理に関する会議と開催状況

- ・ 更新小委員会への進捗報告：毎月月上旬（2011年11月～計6回開催）
- ・ プロジェクト全体進捗会議：毎週金曜（2011年10月～計26回開催）
- ・ 個別プロジェクト進捗会議：毎週（2011年10月～計26回以上開催）